

経済動向調査のまとめ

令和2年6月値

令和2年9月1日 発行

この景気動向調査のまとめは、下記の実施機関の調査資料をまとめたものです。

会員事業所の経営計画等の判断にご活用いただければと思います。

※業種別等の詳細資料をご希望の方は、商工会事務局(TEL 0790-82-2218)へご連絡ください。

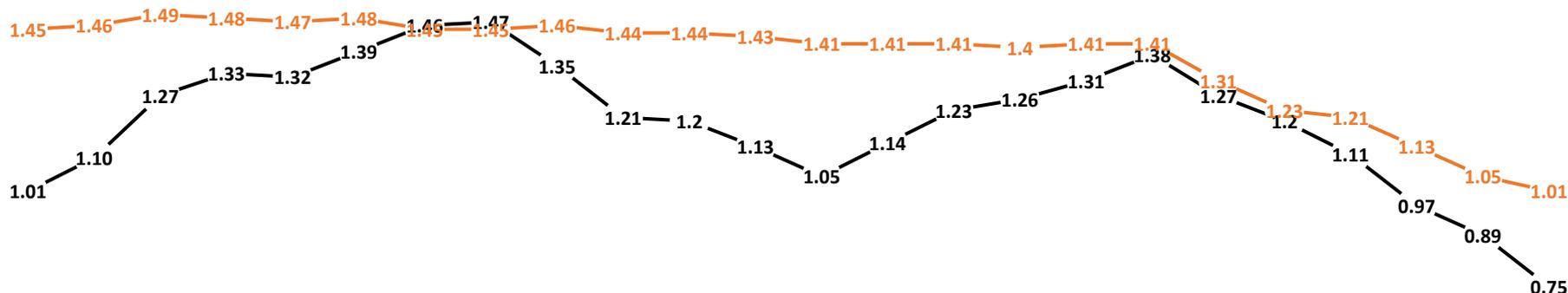
経済動向調査 参照元

調査資料	実施機関	調査対象	数値時期
地域経済景況調査	兵庫県西播磨県民局	西播磨県民局管内	R02.06
全国中小企業動向調査(小企業データ)	日本政策金融公庫	小企業(6,793社)	R02.04~06
小規模企業景気動向調査	全国商工会連合会	全国300商工会の調査	R02.06
にししん景況レポート	西兵庫信用金庫	西播磨地域 102社	R02.04~06

佐用町商工会

2. 西播磨の有効求人倍率の推移

西播磨の6月の有効求職者数は、4,310人、有効求人数は3,226人で、有効求人倍率は0.75倍。
 なお、兵庫県全体の有効求人倍率（季調値）は1.01倍で対前年同月比で0.42ポイント減となった。



	H30.07	H30.08	H30.09	H30.10	H30.11	H30.12	H31.01	H31.02	H31.03	H31.04	R01.05	R01.06	R01.07	R01.08	R01.09	R01.10	R01.11	R01.12	R02.01	R02.02	R02.03	R02.04	R02.05	R02.06
— 龍野職安	1.01	1.10	1.27	1.33	1.32	1.39	1.46	1.47	1.35	1.21	1.2	1.13	1.05	1.14	1.23	1.26	1.31	1.38	1.27	1.2	1.11	0.97	0.89	0.75
— 兵庫県	1.45	1.46	1.49	1.48	1.47	1.48	1.45	1.45	1.46	1.44	1.44	1.43	1.41	1.41	1.41	1.4	1.41	1.41	1.31	1.23	1.21	1.13	1.05	1.01

【参照元：西播磨県民局 地域経済景況調査 西播磨の経済指標】

有効求人倍率とは、「求人数（仕事の数）」を「仕事をしたい人の数」で割ったものです。
 これは、世の中にどれくらい求人（仕事）があって、それにどれくらい応募（仕事をしたい人）があるかを表しています。
 たとえば、仕事の案件が100件あり、そこに200人応募していたら、有効求人倍率は「0.5」になります。
 逆に、求人募集が200件あって、それに応募する人が100人しかない場合、有効求人倍率は「2」になります。

D I 値とは-----

例えば、売上額D I の場合、経営者等に売上状況を、(1) 良い(2) やや良い(3) 普通(4) やや悪い(5) 悪いの5段階により調査します。

その回答が、(1) 良い 10% (2) やや良い 15% (3) 普通 35% (4) やや悪い 15% (5) 悪い 25%だったとすると

$[(1) 10\% + (2) 15\%] - [(4) 15\% + (5) 25\%] = [25\%] - [40\%] = \Delta 15\%$ --- DI値

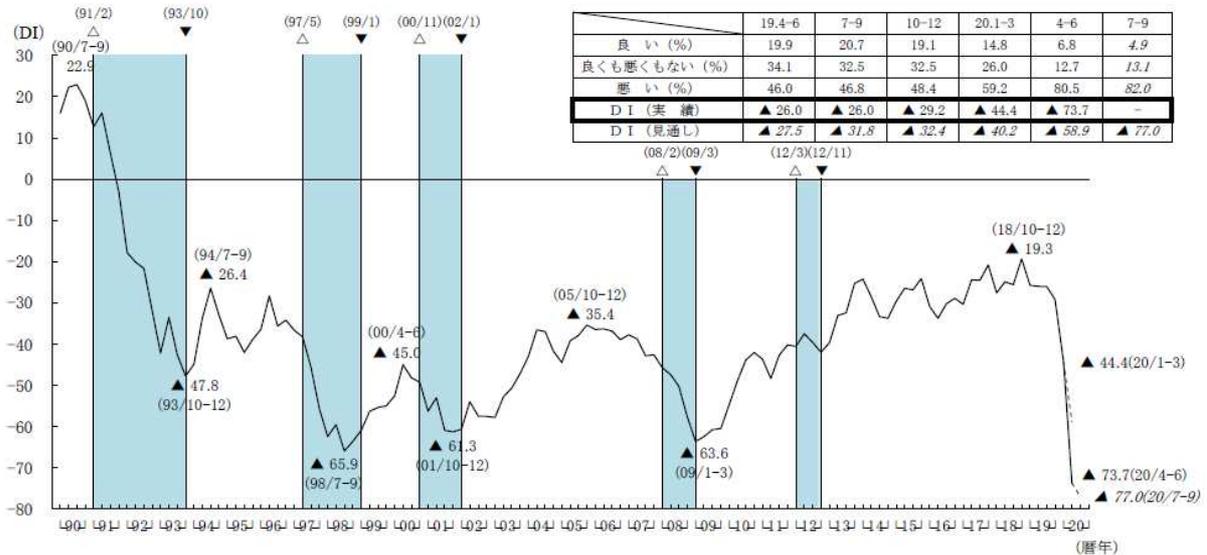
DI値 $\Delta 15\%$ とは、「良い」という回答より「悪い」と回答した経営者が15%多いことになる。

ただ、DI値は結果数値なので、「良い」「悪い」水準比較も必要である。

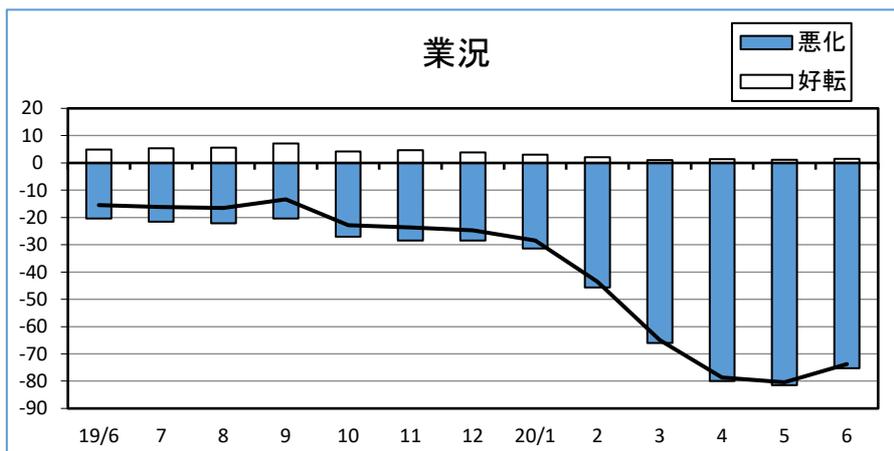
3. 業況

- 今期の業況判断DI（全業種計）は、前期（2020年1～3月期）からマイナス幅が29.3ポイント拡大し、▲73.7となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大し、▲77.0となる見通しである。

図-1 業況判断DIの推移（全業種計）



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査



◇…全業種で改善も、最悪に近い水準にとどまった小規模企業景況…◇

6月期の小規模企業の景況は、全業種で改善となり、産業全体の業況DIは大幅な改善となった。しかし、近年で最悪であったリーマンショック時の水準から抜け出せていない状況である。情報連絡員からは5月の緊急事態宣言解除を受け、徐々にではあるが客足が戻りつつあるとのコメントや新型コロナウイルス感染症対策で実施した消費喚起対策の効果がでてきたとのコメントが見られた。一方で、地域によっては解除後も客足が戻らず、この先も厳しいとする声や第2波の発生を心配するコメントが寄せられた。

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

～景況感は低下～

20年4～6月期（今期）の業況判断D.I.は▲58.8と、前期比36.3ポイント低下した。前期に比べ業況が「良い」と回答した企業が2.9ポイント低下し、「悪い」と回答した企業の割合が33.4ポイント上昇したことによる。業種別の業況判断D.I.は、製造業・卸売業・小売業・サービス業・建設業・不動産業のすべての業種が低下した。中でも小売業が▲70.6と最も低い結果となった（調査対象数の少ない不動産業除く）。全国の業況判断D.I.は▲56.9と前期比37.6ポイント低下、兵庫県では▲61.9と同42.6ポイント低下した。

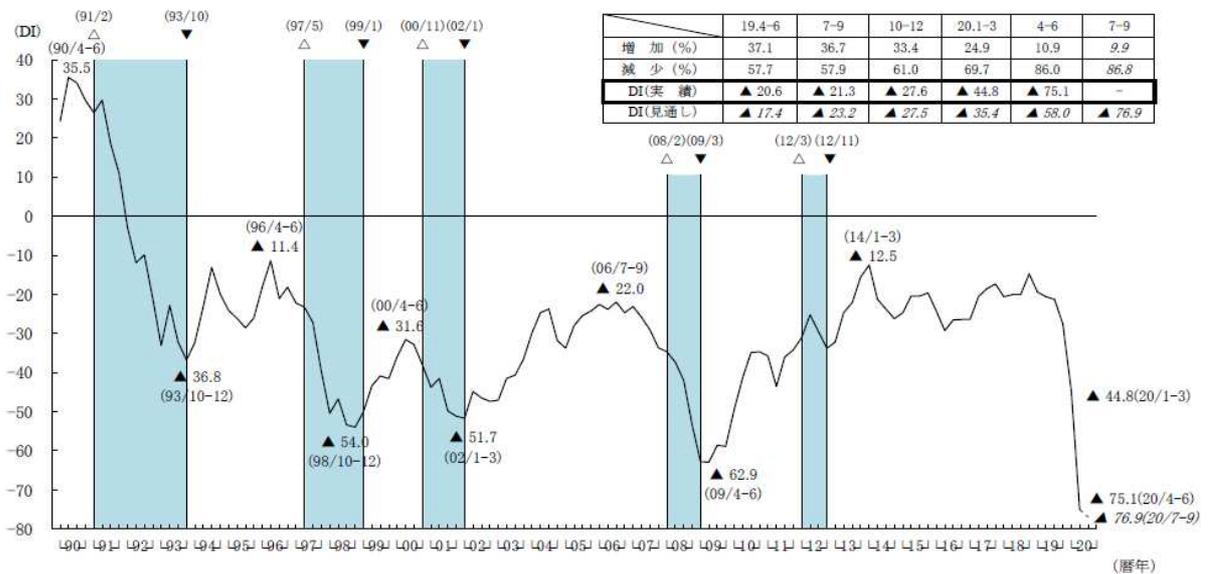


【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況レポート

4. 売上

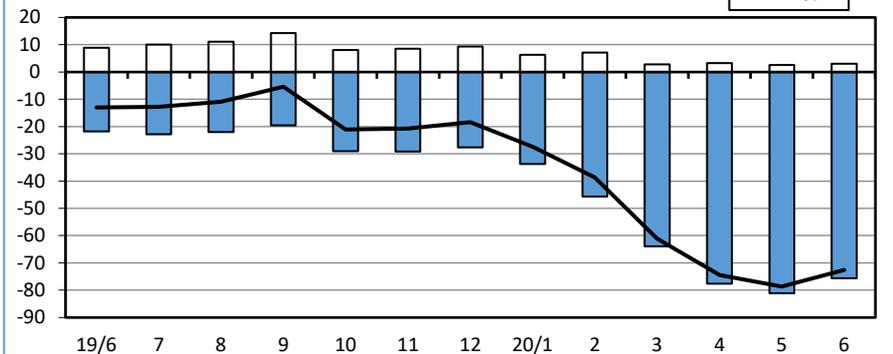
- 今期の売上DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が30.3ポイント拡大し、▲75.1となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。

図-4 売上DIの推移(全業種計)



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

売上



年/月	増加	減少	DI
19/6	8.8	-21.8	-13.0
7	10.0	-22.8	-12.8
8	11.1	-22.0	-10.9
9	14.2	-19.6	-5.4
10	8.0	-29.1	-21.1
11	8.5	-29.2	-20.7
12	9.3	-27.7	-18.4
20/1	6.3	-33.7	-27.4
2	7.1	-45.7	-38.6
3	2.8	-63.9	-61.1
4	3.2	-77.6	-74.4
5	2.5	-81.1	-78.6
6	3.0	-75.6	-72.6

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

前年同期比の売上額判断D. I. は△64.7と前期比41.2ポイント低下し、同収益判断D. I. は△59.8と前期比33.3ポイント低下した。

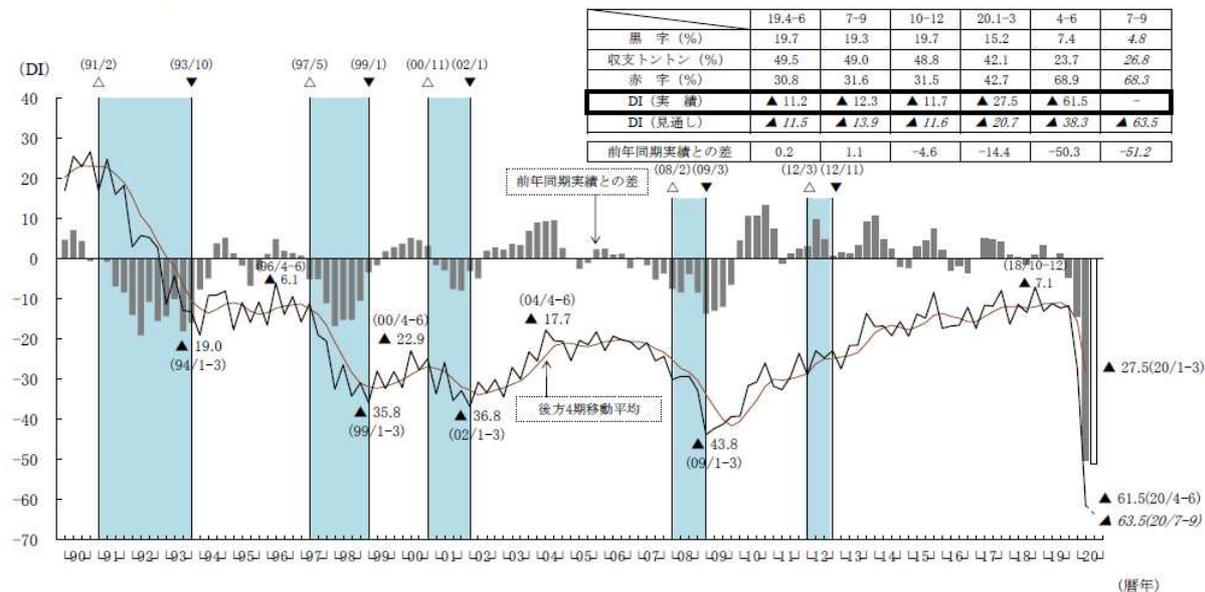
グラフ無し

【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況レポート

5. 採算

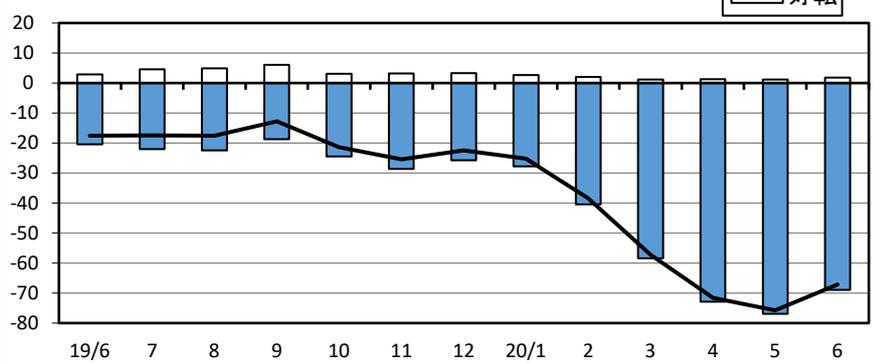
- 今期の採算DI(全業種計)は、前期からマイナス幅が34.0ポイント拡大し、▲61.5となった。
- 来期も、マイナス幅が拡大する見通しである。

図-5 採算DIの推移(全業種計)



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

採算



年/月	好転	悪化	DI
19/6	2.9	-20.5	-17.6
7	4.5	-22.0	-17.5
8	4.9	-22.5	-17.6
9	6.0	-18.7	-12.7
10	3.1	-24.5	-21.4
11	3.2	-28.6	-25.4
12	3.3	-25.8	-22.5
20/1	2.6	-27.8	-25.2
2	2.0	-40.4	-38.4
3	1.1	-58.4	-57.3
4	1.3	-72.9	-71.6
5	1.2	-76.9	-75.7
6	1.8	-69.0	-67.2

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

～販売価格判断D. I. は低下・仕入価格判断D. I. は低下～
 販売価格判断D. I. は△13.7と、前期比11.7ポイント低下した。
 仕入価格判断D. I. は、△6.9と前期比25.5ポイント低下した。

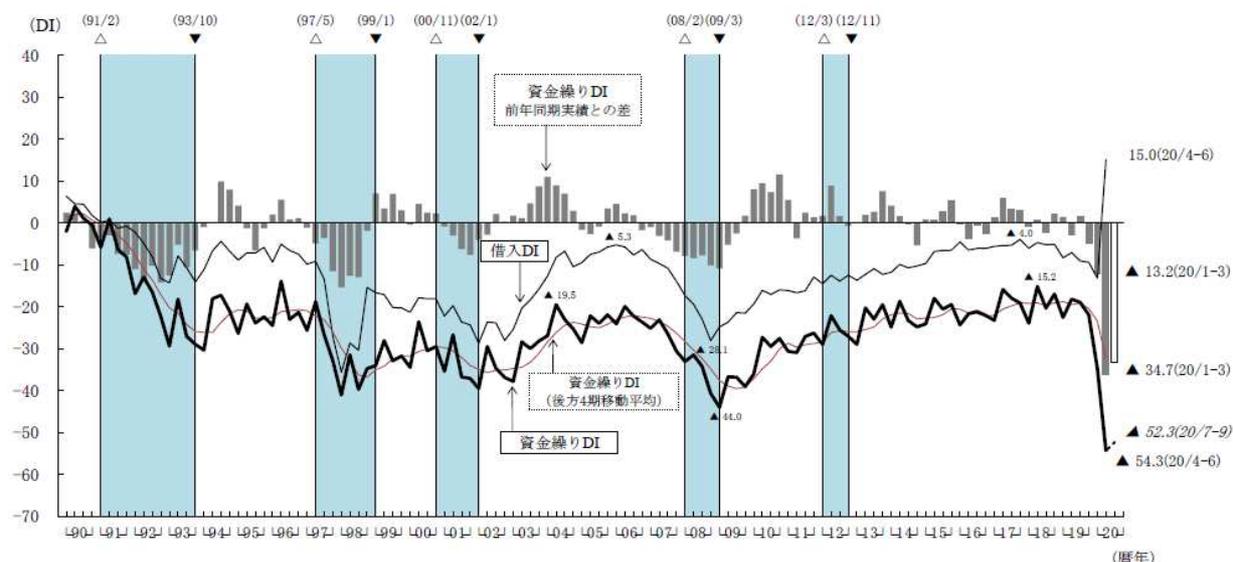
グラフ無し

【資料】西兵庫信用金庫 にししん景況レポート

6. 資金繰り

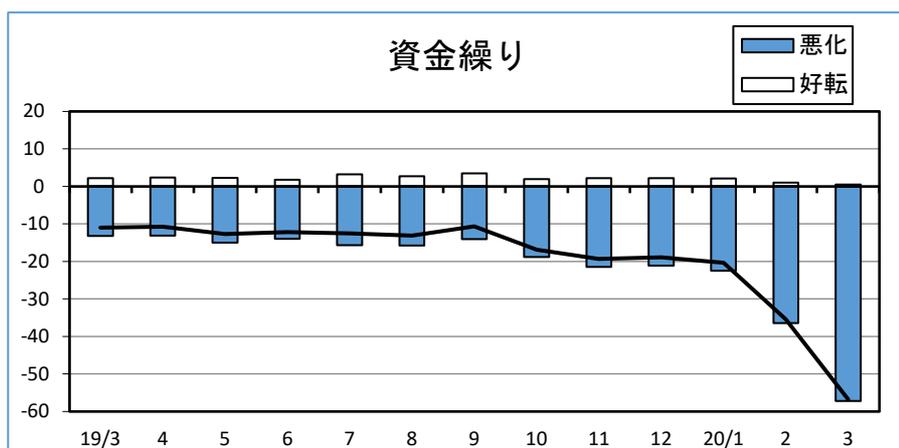
- 今期の資金繰りDI（全業種計）は、前期からマイナス幅が19.6ポイント拡大し、▲54.3となった。来期は、マイナス幅が縮小する見通しである。
- 民間金融機関からの借入状況（全業種計）をみると、今期の借入DIは、前期から28.2ポイント上昇し、15.0となった。

図-6 資金繰りDI、借入DIの推移（全業種計）



【資料】(株)日本政策金融公庫総合研究所 全国中小企業動向調査

資金繰り



年/月	好転	悪化	DI
19/3	2.2	-13.2	-11.0
4	2.4	-13.1	-10.7
5	2.3	-15.0	-12.7
6	1.8	-14.0	-12.2
7	3.2	-15.7	-12.5
8	2.7	-15.8	-13.1
9	3.5	-14.1	-10.6
10	1.9	-18.8	-16.9
11	2.2	-21.5	-19.3
12	2.2	-21.1	-18.9
20/1	2.1	-22.5	-20.4
2	1.0	-36.4	-35.4
3	0.5	-57.2	-56.7

【資料】全国商工会連合会 小規模企業景気動向調査

～資金繰り判断D.I.は低下～

資金繰り判断D.I.は△24.5と、前期比8.8ポイント低下した。業種別では、小売業が前期比11.8ポイント改善した。一方、製造業が前期比9.4ポイント、サービス業が同21.0ポイント、建設業が同11.1ポイント、不動産業が同40.0ポイント低下した。卸売業が横ばいとなった。



【資料】西兵庫信用金庫 にしん景況レポート